

平成21年度 那須塩原市単独補助金等審査結果一覧

No	補助金等の名称	審査項目・評価得点					見直しの方向性	審査会附帯意見	その他参考意見
		目的妥当性・公益性	有効性・効率性	公平性	総得点	平均点			
1	自治会区長会連絡協議会補助金	73	92	44	209	41	継続	◆地域主権の直結事項であり、これからも重要性は増してくるが、地域間の温度差が感じられるため、一層の共通理解と会員拡大対策を明確にする必要がある。	
2	地域婦人会連絡協議会運営費補助金	61	95	44	200	40	継続	◆地域活動として重要な活動と考えるが、若年層の新規加入促進や諸活動への参加率を上げる工夫は必要である。	
3	まちづくり基金事業助成金	—	—	—	—	—	—	22年度廃止	
4	関こん記念祭実行委員会交付金(西那須野地区)	73	113	46	232	46	継続	◆反省点・改善点を踏まえて、事業内容のさらなる充実が求められる。	
5	黒磯消防団各部運営事業補助金	73	94	46	213	42	継続	◆行事・参加人数等を考慮した補助のあり方も検討されたい。 ◆実績報告書の記載方法を3消防団で統一されたい。	▶災害発生時は生命の危険にさらされる団員を考えると、訓練・機器点検等のほか、情報・意見交換の場も必要である。 ▶危険な出勤時の手当が小さい。補助金だけでなく、総合的な検討が必要。
6	西那須野消防団各部運営事業補助金	73	102	46	221	44	継続	※黒磯消防団各部運営事業補助金に同じ。	※黒磯消防団各部運営事業補助金に同じ。
7	塩原消防団各部運営事業補助金	73	102	46	221	44	継続	※黒磯消防団各部運営事業補助金に同じ。	※黒磯消防団各部運営事業補助金に同じ。
8	那須疏水助成金	63	88	38	189	37	改善	◆補助の必要性はあるが、下水道の普及も進んでいることから、補助金の算出方法等の見直し協議・検討に努められたい。	▶補助金の性質から継続すべき。 ▶環境整備・保全是重要だが、下水道の普及も進んでおり、補助金の見直しが必要。
9	民生委員児童委員協議会連合会事業費補助金	73	97	50	220	44	継続	◆社会的・福祉的ニーズの変化が激しいため、研修等を充実させる事業内容を検討されたい。	▶日頃の気苦労も多く、自己研さんのための研修会は必要。慶弔費などの個人的な支出については検討が必要。
10	遺族会(遺族連合会)補助金	59	109	44	212	42	継続	◆参加者が出席しやすい工夫をされたい。	▶参列者が参加しやすい工夫が必要。 ▶補助があつて然るべき対象と考えるが、小額すぎないか。 ▶自主財源が確保できており、補助対象範囲が限定的であり、減額しても良いのではないか。
11	心身障害児(者)父母の会運営費補助金	67	111	40	218	43	継続	◆参加者が出席しやすい工夫、会員拡大と行事への参加率を高める工夫をされたい。	▶障害者福祉のため、充実と継続が必要。 ▶障害者やその家族は社会的に孤立しやすい。今後も継続すべき。 ▶会員拡大と行事への参加率を上げる工夫が必要。また、障害者の自立支援のため、保護者と児童が社会参加をしやすい環境整備のための補助も。
12	敬老会運営補助金	67	109	46	222	44	継続	◆今後高齢者人口の増加が見込まれることから、敬老会のあり方・運営等の工夫が必要である。	▶楽しみにしている方も多く、やめてしまうと逆に不公平感を与える。 ▶今後は増え続けるが、お金をかけずに運営する工夫も必要。 ▶記念品の配付だけの自治会が気がかり。 ▶敬老会の方法等を検討する必要あり。
13	街中サロン事業補助金	71	116	40	227	45	継続	◆事業自体は大変有意義である。21年度で補助を終了する計画だが、現状では補助金なしでの運営は成立しない。相手側の今後の方針を確認ながら、段階的な削減を前提に継続を検討されたい。	▶街中サロンとして活発に機能しており、21年度で打ち切るべきでない。 ▶財源の問題はあるが、事業自体は大変有意義であり、継続すべき。 ▶高齢者だけでなく異世代交流の場になっており、介護予防にもつながっている。今後まちづくり基金がなくなることで、多くの制約が出ると思うが、他地区との公平さを含め、段階的な削減が望ましい。 ▶他にもこのようなサロンが必要では。

平成21年度 那須塩原市単独補助金等審査結果一覧

No	補助金等の名称	審査項目・評価得点					見直しの方向性	審査会附帯意見	その他参考意見
		目的 妥当性・ 公益性	有効性・ 効率性	公 平 性	総 得 点	平 均 点			
14	地域米消費拡大事業補助金	26	63	24	113	22	廃止	◆文化の伝承は大変重要だが、米消費拡大には結びつかない。同種保存会とあわせて一定額の補助とするなど、すでに目的は達成していると考ええる。	▶文化伝承は大変重要であるが米消費拡大には結びつかないのでは。一時的に消費しても通年消費までには至らない。 ▶すでに目的は達成されたと思われる。 ▶「地域米消費拡大事業」で補助すべきではない。 ▶文化保存・米消費など大きい意味もあり、イベントでは大いに活動しているので、同種保存会とあわせて一定額の補助を。
15	畜産振興会事業費補助金	65	106	44	215	43	継続	◆畜産は市の重要な産業であり、本州一の生乳生産量を維持する上でも、防疫事業は必要不可欠と考ええる。	▶畜産は市の重要な産業であり、防疫の観点からも継続すべき。 ▶繰越金が多い。補助金の算定基準は。 ▶市の重要産業であり、継続すべきである。国・県レベルでの事業に対する補助金は必要。また、一般事業の牛乳普及啓発活動もより一層活発にし本州1位を維持して欲しい。市内・県内に止まらず、広く全国に向け発信していただきたい。
16	黒磯土地改良区運営費補助金	57	91	42	190	38	改善減額	◆補助金の使途が不明確であり、繰越金も多いため、補助対象となる経費を明確する必要がある。市民と行政のそれぞれのニーズを検証し、補助金のあり方を総合的に見直す必要がある。	▶補助は必要と思うが、繰越金も多く、減額を検討すべき。 ▶統合・機械化等により人件費の低減が図れるのではないかと。 ▶農業に関係する施設・道路・用地等の維持管理、それに関わる人件費は必要と思うが、同質の団体との統合・合併で見直しができるのであれば検討する余地がある。
17	那須疏水土地改良区運営費補助金	59	94	43	196	39	改善減額	※黒磯土地改良区運営費補助金に同じ。	▶歴史的背景のある那須疏水を有する団体であり、整備・維持管理など必要と思われるが、統合・合併が可能であれば、支出の見直しを行い、さらに有効な補助金の使い方が検討できるのではないかと。 ▶特殊事情はあるが、統合・機械化等により人件費の低減が図れるのではないかと。
18	西那須野東部土地改良区運営費補助金	50	81	36	167	33	改善減額	※黒磯土地改良区運営費補助金に同じ。	▶場所的に隣接する団体と統合・合併が可能ならば、人件費等の削減に向けて検討する余地があるように思う。 ▶収入と支出の総額で判断した際、補助の必要性は感じられない。合計点では減額すべき区分だが廃止も視野に入れるべき。 ▶統合・機械化等により人件費の低減が図れるのではないかと。
19	塩原土地改良区運営費補助金	55	101	42	198	39	改善減額	※黒磯土地改良区運営費補助金に同じ。	▶統合・機械化等により人件費の低減が図れるのではないかと。 ▶地理的に各地区ごとの維持・管理となるが、同質の団体との合併が可能であれば、運営に支障がないよう人件費、報酬・手当等の検討が必要と思う。
20	塩原林業振興会運営費補助金	53	89	30	172	34	改善減額	◆山林保全・維持管理の必要性は認識するが、活発に活動しているとは言い難い。事業効果の高い内容を検討するなど、総合的な見直しが必要である。	▶山林の大切さ、維持の難しさはよくわかるが事業計画を見ると役員会・総会が多く、技術研修の効果がよく見える行事等に使う工夫が欲しい。 ▶研修が活発に行われている様子があまり見られない。次世代の担い手の育成のため、活動を活発にしてみたい。 ▶公益性が乏しいのでは。
21	西那須野労務研究会補助金	34	78	28	140	28	廃止	◆繰越金が多く、会員の福利厚生が目的と化している。市のために資する事業とはいえず、廃止を検討すべき。	▶繰越金が多く、補助の必要は無い。 ▶各企業で努力すべきものである。 ▶会員の福利厚生が目的と化しており、市のために資する事業とはいえず。繰越金も多く、廃止を検討する必要あり。 ▶商工会の事業に取り入れてはどうか。

平成21年度 那須塩原市単独補助金等審査結果一覧

No	補助金等の名称	審査項目・評価得点					見直しの方向性	審査会附帯意見	その他参考意見
		目的 妥当性・ 公益性	有効性・ 効率性	公 平 性	総 得 点	平 均 点			
22	黒磯商工会運営補助金	67	107	42	216	43	継続	◆3地区商工会の統合による運営の効率化と経費削減が必要である。各地区で取り組んできた特色のある既存事業については、運営費に別途加算するなど、総合的な見直しを検討する必要がある。	▶3地区商工会の合併により、運営の効率化と経費削減に取り組むべき。
23	西那須野商工会運営補助金	67	113	42	222	44	継続	※黒磯商工会運営補助金と同じ。	※黒磯商工会運営補助金と同じ。
24	塩原商工会運営補助金	67	113	44	224	44	継続	※黒磯商工会運営補助金と同じ。	※黒磯商工会運営補助金と同じ。
25	那須野巻狩まつり補助金	73	119	42	234	46	継続	◆ボランティア団体等の出店料の優遇・施設の方々の送迎など福祉面での工夫も必要と考える。今後も市民参加型の協働イベントとして広く周知され、事業内容等の充実に努められたい。	▶事業計画にあるように参加型の協働イベントに努めてほしい。 ▶出店料のボランティア団体などの優遇、施設の方々の送迎など、福祉面の工夫が必要ではないか。 ▶多くの来場があり、市のアピールに繋がっている。また、文化・伝統の継承の観点からも必要性は高い。 ▶2箇所で行う不便を感じる。多くの市民が参加できるようにシャトルバスの運行等のさらなる検討を。
26	黒磯さくらまつり補助金	71	113	42	226	45	継続	◆補助の必要性は認められるが、市内には多くの桜の名所があり、市民に親しまれていることから、地域のバランスを保つ工夫をされたい。	▶公園の照明という最小限の補助であり、継続すべきと思われる。 ▶市民の憩いの場となっており、楽しみにしている市民も多い。 ▶マンネリ化が感じられる。開催に際して工夫が必要か。
27	西那須野工業団地連絡協議会運営費補助金	33	74	27	134	26	廃止	◆活動の大半は企業活動の一環と考えられる。事業が理念と離れているものも見られるため、事業内容の整理・他事業との統合などを検討すべき。	▶環境面での活動で公共性は見られるが、活動の大半は企業活動の一環と考えられ、また、十分に自立できる状況にある。 ▶環境保護という理念は大切と思われるが、事業が理念と離れているものも見られる。事業内容の整理や他の組織・事業との統合なども検討すべき。
28	黒磯盆踊り大会事業費補助金	57	107	42	206	41	継続	◆盆踊り大会事業費に対する補助金としていますが、黒磯駅前活性化を意識した部分もあり、目的の不明確さを感じられる。盆踊りの位置づけを見直し、広告・宣伝の方法や支出項目等の検討も必要と考える。	▶設備・宣伝費の補助で、予算規模からも補助割合が大きく、継続すべき。 ▶設備費の割合は大きく、毎年使用できるような工夫で経費節減が出来るのでは。 ▶広告・宣伝の方法や支出項目等の検討が必要と思われる。 ▶盆踊りが目的なのか、駅前活性化が目的なのかが不明確であり、盆踊りを目的にするのであれば、大金を掛けなくても楽しむ工夫があるはずであり、活性化が目的ならPRの工夫が足りない。 ▶盆踊りの位置づけを見直し、その内容によっては補助金額の検討も。
29	黒磯観光協会運営補助金	69	107	40	216	43	継続	◆3地区観光協会の統合による運営の効率化と経費削減は明確である。各地区で取り組んできた特色のある事業については、運営費とは別に加算する方法など、総合的な見直し検討が必要と思われる。	▶観光協会の合併を推進すべき。 ▶塩原・西那須野と統合し、一体となった観光誘致に励む必要がある。 ▶古くからの観光地に新しい観光スポットが加わり、活性化しつつある。しかし、観光客の誘客のみではなく、市民へのPRをもっと工夫すべきではないか。
30	西那須野観光協会事業費補助金	65	91	38	194	38	改善	◆黒磯・塩原地区に比べると観光資源が少なく、事業規模も小さい。3地区観光協会の統合による運営の効率化と経費削減は明確である。	▶観光協会の合併を推進すべき。 ▶花まつり事業を行っているだけに見受けられる。事業補助であれば、開墾記念祭と統合可能ではないか。 ▶予算額に比べ活動は活発とはいえない。黒磯・塩原との統合を検討すべき。 ▶観光地への通り道と思われがちな地域なので、市民へのPRを含めイベント内容の工夫など、もっと力を注ぐべきではないか。

平成21年度 那須塩原市単独補助金等審査結果一覧

No	補助金等の名称	審査項目・評価得点					見直しの方向性	審査会附帯意見	その他参考意見
		目的 妥当性・ 公益性	有効性・ 効率性	公 平 性	総 得 点	平 均 点			
31	塩原温泉観光協会補助金	75	113	40	228	45	継続	※黒磯観光協会運営補助金と同じ。	▶観光協会の合併を推進すべき。 ▶黒磯・西那須野と統合し、一体となった観光誘致に励む必要があると思われる。 ▶誘客を中心にした事業を行っているが、市民に対するPRが少ないため、一体感が無いように感じられる。伝統を重んじるイベントと時代にあったイベントなど、さらに研究工夫していく必要がある。 ▶補助金の額が大きい、補助額に対しての効果の検討の余地がある。
32	塩原温泉観光緑化推進協議会補助金	69	105	42	216	43	継続	◆緑化事業は公共性も高く、環境保護・景観整備の観点でも必要である。他市の類似活動を参考に、市民参加型の活動への転換も検討されたい。	▶会員参加が少ない。また委託が多い。足利市や日光市のような活動を参考に、観光協会等と協力し市民参加の活動とすべき。 ▶活動のPRが不足している。 ▶観光協会活動の一環として捉えるべき。 ▶毎年、草刈機等の備品が必要か疑問。 ▶補助金の割には参加者が少ないのでは。
33	塩原温泉湯けむりゲートボール大会運営費補助金	61	119	46	226	45	継続	◆観光客の誘客という面では今後の発展を期待したい事業であり、観光協会の一事業として自立可能な内容と考える。	▶継続して今後の発展を期待したい事業であるが、観光協会の一事業として自立可能な内容と考える。 ▶補助金額以上に市の宿泊施設などにもたらず恩恵は大きく、また参加者にとっても楽しみとなっており、今後も継続すべき。 ▶高齢者や愛好家が宿泊費をかけても参加することはとても喜ばしい。観光客の誘客にもつながる行事として継続を。
34	栃木県自然公園美化推進協議会塩原支部補助金	69	94	35	198	39	改善	◆日光国立公園に属する地域を対象とした国の計画に基づく活動であるため、継続して補助は必要となるが、観光地としての効果的な美化活動を実施されたい。	▶全額公的資金で運営し、事業のほとんどがシルバー人材に委託。補助金ではなく行政が直接行えるのではないかと。 ▶必要な事業であり継続すべき。(観光シーズンにトイレ清掃が週1回で良いのか気になるところである。) ▶PRやボランティアの活用など、活動内容について改善が必要。 ▶清掃委託先のシルバー人材センターには直接行政から委託はできないのか。それに関わる事務経費・人件費等に無駄が生じていないのか疑問を持つ。
35	塩原温泉観光協会特別誘客対策宣伝事業補助金	59	105	32	196	39	改善	◆補助の必要性はあるが、ウェディングイベント以外についても、誘客に結びつく事業となるよう工夫が必要と考える。	▶ウェディングイベント以外は、どこでもやっている事業であり、マンネリ化しないよう工夫して欲しい。 ▶事業内容やアピール方法などで改善の余地はあるものと思われる。 ▶誘客の対象とする年齢層が高いと感じる。演奏やウェディング等もマンネリ化させずに、どの年齢層も楽しめる工夫を。
36	黒磯観光協会ニッコウキスゲキャンペーン事業費補助金	47	101	34	182	36	改善	◆市全体として誘致方法やイベント等を考えるべきである。板室温泉の活性化には有効と思われるが、観光協会の事業として統合することも含めて改善・検討が必要と考える。	▶事業内容や経費から見て、観光協会の事業として統合すべき。 ▶旧黒磯市のみで観光客誘致を考えるのではなく市全体で誘致方法やイベントなどについて考えるべきである。 ▶板室温泉を活性化させるには有効であるが、観光協会の事業の一つとして実施することは難しいのか。事業経費・人件費等を考えると他の事業と一緒に事務処理できると良いのでは。

平成21年度 那須塩原市単独補助金等審査結果一覧

No	補助金等の名称	審査項目・評価得点					見直しの方向性	審査会附帯意見	その他参考意見
		目的 妥当性・ 公益性	有効性・ 効率性	公 平 性	総 得 点	平 均 点			
37	西那須野ふれあいまつり実行委員会交付金	67	101	40	208	41	継続	<ul style="list-style-type: none"> ◆市民の参加も多く、ふれあいの機会・場となっており、今後も継続して補助は必要と考える。事業内容がマンネリ化しないように、市民の意見や企画等への参加を呼びかけるなど、市民と行政の協働によるイベントづくりを目指していただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ▶行政主導から民間主催とならないか。マンネリ化が感じられる。 ▶西那須野地区の大きいイベントとして多くの市民の参加もあり、ふれあいの場として継続発展して欲しい。 ▶年々人出が多くなっており、特に若者が増えてきているように思う。もっと活性化させるには市民の意見を多く取り入れ、自主イベント・企画等にも参加できるよう行政と市民でつくりあげることが望ましいと思う。 ▶毎年の事業改善はしているのか。
38	黒磯地区温泉保護開発協会事業費補助金	35	77	32	144	28	廃止	<ul style="list-style-type: none"> ◆温泉の保護管理は重要であるが、繰越金も多く、すでに目的は達成していると考えられる。 	<ul style="list-style-type: none"> ▶塩原温泉地区にも同様の補助はあるか。 ▶補助金が少額で率も小さく、繰越金も補助金額に対して多い。 ▶源泉調査等は市が実施しており、他の事業は観光協会等の事業として統合できる。 ▶必要性が感じられない。廃止を検討。 ▶温泉の保護と管理・調査は大変重要だと思うが、会費納入者の会費等で十分事業を行えるものとする。
39	黒磯公園愛護会活動補助金	52	81	32	165	33	改善	<ul style="list-style-type: none"> ◆公園内の美化・衛生管理は必要である。後継者の問題を踏まえ、従前の活動内容・方法等を見直し、継続すべきと考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ▶地域との協働で除草等はできないか。 ▶みんなで公園をきれいに！というの大切。後継者を見つけ継続して欲しい。 ▶今後は行政主体で行われるべき事業と思われる。廃止を検討するべき。 ▶点数をつけると低くなるが、長年にわたり自主的にやっているというものなら減額でも。他の方法としてはボランティアとして実施してもらい、補助金ではなく、それに見合うものを出す方が良いのでは。 ▶継続が難しい状況をどう改善するのか。
40	まちづくりイベント支援補助金(西那須野地区)	57	95	36	188	37	改善	<ul style="list-style-type: none"> ◆まちづくりの必要性は認識するが、集客・収容できる施設・店舗等がないため、人々の賑わいに欠ける印象を受ける。イベント等での集客には限度があることから、事業計画等の総括的な見直しなど、再度検討する必要があると考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ▶集客の悪いイベントもあると聞く。工夫が必要ではないか。 ▶「中心市街地活性化事業」と対象地区が同一であるから、イベント等を統合し、補助金も統合する。 ▶コンセプトは面白い。人材の確保や自主財源の確保、事業の拡大や見直しなど改善すべき点は多々あると思われる。 ▶不景気の中、補助金を出す方も受ける方も大変なことと思うが、再開発には重要であることも確かである。イベント等にはチャリティ、参加費等を加え、無駄な支出を抑えることも考えて欲しい。 ▶独自の活動だけでなく、他のイベントへの協力も検討すべきではないか。 ▶「まちづくり」であるからには、きちんと総括をして全体の様々なイベントを含めた高い視点で計画すべきではないか。
41	教育振興会補助金	71	105	38	214	42	継続	<ul style="list-style-type: none"> ◆教職員のレベルアップはより良い教育の実現には不可欠であり、継続すべきものとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ▶行政が自ら行うべきものとする。 ▶事業は継続すべきものとする。学校側での自主運営がされており、学校費用で賄えないのであれば補助を継続すべき。 ▶学校勤務以外にも常に時代に合った研修等を行う職業であることは分かるが、年会費としての額がとてま少なく、月に100円程度というのは疑問である。
42	塩原中学校区幼保小中連携補助金	-	-	-	-	-	-	22年度廃止	
43	篝根中学校区幼保小中連携補助金	-	-	-	-	-	-	22年度廃止	

平成21年度 那須塩原市単独補助金等審査結果一覧

No	補助金等の名称	審査項目・評価得点					見直しの方向性	審査会附帯意見	その他参考意見
		目的妥当性・公益性	有効性・効率性	公平性	総得点	平均点			
44	西那須野学校保健研究協議会補助金	40	69	20	129	25	廃止	◆全学校共通の事業であり、市あるいは教育振興会等の事業として行うべきである。また、繰越金も多く、すでに目的は達成していると考えられる。	▶特定の地区だけということもあり、今後他の事業（たとえば教育振興会の研修部会等）との統合等も検討が必要かと思う。 ▶必要ならもっと活発に活動するべき。
45	西那須野産業文化祭交付金	67	111	44	222	44	継続	◆市内の様々な団体の交流・活動の場になっており、意義は大きいイベントである。補助金額によって事業内容が変動するため、補助金の算出にあたっては慎重に検討すべきだが、今後は全市対象のイベントとして前向きな発展を検討していただきたい。	▶子ども達の作品や一般市民の日頃の成果が一堂に会することが可能であり大変良い。近年、西那須野地区だけでなく、黒磯・塩原地区の市民も参加していることから広く知れわたってきたと思うので、今後も続けていけるよう補助が必要と思う。 ▶歴史のある事業であり、継続されるべきと考えるが多彩すぎないか。児童作品展などの全市への拡大や開催の分離、長寿センターエリアへの誘客あるいは福祉祭の分離、芸術（文化）部門は開催日も異なることから文化協会活動として分割するなどの検討を。
46	塩原地区体育祭ブロック交付金	39	67	34	140	28	廃止	◆特定の地域で、誰もが参加できる種目ではなく、公平性に欠けている。体育祭自体の見直しが必要と考える。	▶地域に根差した活動を継続してるか（PRIは十分か） ▶繰越金も多く出ていることから、種目別大会への補助金としてもいいのでは。また、誰もが参加できる種目ではないので、体育祭自体を見直す必要がある。 ▶同種活動を行っている体育協会補助金との統合を検討すべき。 ▶運動の機会を持つというコンセプトは分かりやすい。地区に捉われず、むしろいろいろな方と交流できる形が良いのでは。 ▶事業展開の改善は行っているか。 ▶各ブロックとも補助金が何に使用されたのか不明であり、現実に必要な補助金か。
47	塩原自治公民館連絡協議会補助金	-	-	-	-	-	-	21年度廃止	
48	市文化協会連絡協議会運営補助金	55	95	38	188	37	改善	◆3地区文化協会の統合に向けた協議・検討が必要と考える。また、3地区文化協会の活動運営に対する支援として同額を分配しているが、共通事業に係る費用と活動量に応じた費用を分配する方法なども検討する必要があると考える。	▶各地区の年会費を統一できないか。 ▶補助金額と活動内容が合致していない。 ▶市職員の人件費が大きいのではないかと。多種多様なグループの集まりであり、協会側の自主運営を促すべき（そのために補助金額が若干増えてもよいのではないかと）。 ▶活動内容の見直しが必要か。 ▶文化活動は重要だが、市民に還元されているとは言い難い。費用対効果を鑑み、減額も視野に入れても良いのでは。
49	市音楽協会運営補助金	51	111	36	198	39	改善	◆西那須野・塩原地区にも広く周知し、全市を対象としたグループ交流・合同開催が望ましいと考える。また、芸術文化の向上に貢献ということであれば、文化協会との関わりも視野に入れるなども検討されたい。	▶市民のコンサート参加数も多く、市民文化の向上に一役買っているといえる。 ▶活動内容のさらなるアピールが必要か。 ▶会場は文化会館のままか。 ▶補助金のほとんどがポスター等の印刷代である。何か工夫ができないか。 ▶来場者数から見ると大ホールの使用はもったいないような気がする。また、自らの音楽性の向上に補助金というのは疑問。
50	市民オペラ支援事業交付金	59	109	34	202	40	継続	◆市の貴重な文化芸術資源として、今後も継続して補助は必要と考えるが、入場料などの自主財源の確保について、自助努力を促すことも必要と考える。	▶市民によるオペラ活動はとても貴重であり、長く続けていくことに意義がある。作り上げていく過程で、指導者・協力者にかかる費用も多くなることもしかたないと思う。参加するには全員から会費を徴し、負担を分け合うのも必要ではないか。 ▶コンセプトは理解できるが金額が大きい。この金額が必要か精査する必要がある。 ▶なぜオペラなのかを全面に押し出す必要があるのでは。費用対効果の検討も。

平成21年度 那須塩原市単独補助金等審査結果一覧

No	補助金等の名称	審査項目・評価得点					見直しの方向性	審査会附帯意見	その他参考意見
		目的 妥当性・ 公益性	有効性・ 効率性	公 平 性	総 得 点	平 均 点			
51	創作劇(那須野の大地)支援事業交付金	51	109	40	200	40	継続	◆郷土を知るという意味では意義ある企画であり補助の必要性はあるが、金額が大きいことから、10年を節目に目的達成の手法等を検討すべきと考える。また、入場料などの自主財源の確保について、自助努力を促すことも必要と考える。	▶すそ野を広げるには、上演のPRの仕方や公演回数を考慮してはどうか。 ▶青少年育成だけでなく、郷土を知ることでは市民にとっても大変意義のあることだと思ふ。 ▶10回公演を機に検討を。 ▶「郷土愛」「協働」については公演ビデオを各小中学校で教材としたらどうか。 ▶コンセプトは明確だが、金額が多い印象を受ける。この金額でよいか精査する必要がある。
52	西那須野地区児童生徒補導連絡協議会交付金	—	—	—	—	—	—	21年度廃止	※前年度末で組織解散
53	子ども会育成会連絡協議会補助金	59	103	46	208	41	継続	◆児童・生徒の健全育成は永続的に支援すべきものであり、継続して補助は必要と考える。	▶子ども会に入らない家庭も多くなっていると聞く。子ども会が安心して楽しいものになるよう有効に使っていただきたい。 ▶子どもと大人の関わり合い方の積極的な変化を模索してほしい。 ▶少ない補助ではあるが、全国的な組織であり必要な活動だと考える。 ▶各地区の行事内容が具体的でない。 ▶県子連事業奨励金で運営できないか。
54	関東学生トライアスロン選手権那須塩原大会補助金	55	123	38	216	43	継続	◆市のPR・誘客につながる事業であり、継続して補助は必要と考える。大会を盛り上げるためにも、市民に広く周知されたい。	▶費用対効果を考慮すると、市の宣伝やイメージアップは金額以上だと思う。 ▶市民へのPRが不足している。 ▶大会開催を感じる機会があまりない。広報の工夫を勧奨すべきか。 ▶学生が集い、スポーツを競い合うことは活気が出てとてもよいと思う。ただ、市として補助を続けるなら、広く地域を見直し、場所を変えることで観光地紹介にもなると思う。 ▶なかなか傍で見ることのできない競技であり、市民にその機会を与え、市のPR・誘客にも繋がっている。継続して欲しい企画である。
55	西那須野地区体育振興交付金	—	—	—	—	—	—	21年度廃止	
56	体育協会補助金	65	109	40	214	42	継続	◆市民へのスポーツの普及という目標の達成に大きく貢献しており、継続して補助は必要と考える。	▶「市民へのスポーツの普及」という目標の達成に大きく貢献している。 ▶市民の元気維持に役立っていると考えられるが、厳しい財政状況の中で大会費(賞品代等)については儉約の余地があるのでは。 ▶行事が多く、使われる金額も高額である。実際にどれくらい必要なか、無駄はないのかを検討することが大切であり、毎年例年どおりではなく見直す必要がある。
57	スポーツ少年団補助金	67	111	38	216	43	継続	◆児童生徒のスポーツに親しむ機会の拡充という役割をしっかりと捉えており、継続して補助は必要と考える。	▶スポーツを通じて子ども達の心身を鍛錬することは大変よいことだと思う。指導者が高齢化しつつあることから人材の発掘も必要と感じるが、金額も大きいことから、やはり一度見直すことも必要。 ▶当面の継続は必要だが、先生・保護者とのバランス、補助金の割り当て方など、随時検討する必要あり。